

# ■ 2021年度 入試問題分析シート ■

京都大学

前期日程

科目

数学(文系)

総括

|      |      |          |    |     |    |
|------|------|----------|----|-----|----|
| 試験時間 | 120分 | 難易度(昨年比) | 難化 | 昨年並 | 易化 |
|      |      | 分量(昨年比)  | 増加 | 昨年並 | 減少 |

**<総論>**

昨年より取り組みやすい問題が増え、受験生の努力が報われるセットであった。際立った難問もなく、標準的で易しい問題が多かった。何年かぶりに3桁得点を目標とするレベルである。2019年度と同様1番が独立小問になったが、難易度が下がった影響で誘導形式の小問がなくなった。

**<特記事項・トピックス>**

入試問題の題材には珍しく2進法、4進法の計算が出題された。教科書の内容の網羅性に配慮したのであろう。

**<合格への学習対策>**

例年確率、微分積分、図形は頻出分野である。誘導のない問題が多いのが京大の特徴であるので、普段の問題集で学習するときは誘導のありがたみを感じることが大切である。

## 設問ごとの分析

| 問題番号 | 出題形式 | 範囲           | 分野・テーマ     | 特徴(内容分析・解答上のポイント)               | 問題レベル      |
|------|------|--------------|------------|---------------------------------|------------|
| 1    | 記述   | 問1 A<br>問2 B | 整数<br>ベクトル | 2進法表記での積と2進法から4進法への変換<br>三角形の垂心 | やや易<br>やや易 |
| 2    | 記述   | II           | 定積分の計算     | 絶対値を含む定積分                       | 易          |
| 3    | 記述   | A, B         | 確率, 数列     | 確率漸化式                           | 標準         |
| 4    | 記述   | B            | 空間座標, ベクトル | 直方体を平面で切った断面積                   | 標準         |
| 5    | 記述   | A            | 整数         | 素数でない証明                         | 標準         |

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。